

算数科学習指導略案

4年2組 28名 指導者 沢村 優治

1 題材 一けたでわるわり算

2 指導計画（総時数10時間）

主な学習活動【評価規準】		時間
1	除法の場面を式に表し、計算の仕方として筆算形式を理解する。 【考：除法の筆算の仕方を、具体的な場面と結びつけて説明している。】 九九1回適用の除法による筆算の仕方や答えの確かめ方を、半具体物を使いながら順序よく考えさせることで、筆算の流れを押さえていく。	1
2	繰り下がりのない(2位数)÷(1位数)の計算や繰り下がりのある(2位数)÷(1位数)の計算の仕方を考える。 【考：既習の除法の計算の仕方をもとにして、繰り下がりのある(2位数)÷(1位数)の計算の仕方を考えている。】	1
3	筆算の仕方を知り、説明することができるようになる。 【考：筆算の仕方を、除法の具体的場面と結び付けながら、筋道を立てて説明している。】	1
4	あまりのある除法や商に0がたつ除法の筆算の仕方を考える。 【技：(2位数)÷(1位数)の筆算ができる。】 あらゆる(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を、具体物や半具体物を使いながら説明させ、順序よく筆算で計算できるようにする。	1
5	(3位数)÷(1位数)の計算の仕方を考えたり、商が3位数になる場合の計算を考えたりする。 【考：筆算の仕方を、除法の具体的場面と結び付けながら、筋道を立てて説明している。】	1 (本時)
6	(3位数)÷(1位数)で商が2位数になる場合の計算をする。 【知：(3位数)÷(1位数)=(2位数)の筆算の仕方を理解している。】	1
7	(3位数)÷(1位数)で商に空位がある場合の計算をする。 【知：商に0が立つ筆算の効率的な処理の方法を理解している。】	1
8	問題場面を絵やテープ図からよみ取り、立式する。 【考：絵や図を手掛かりにして、乗法や除法の演算決定をしている。】	1
9	既習事項の理解を深める。 【知：題材を振り返り、分かったことをまとめている。】 (2位数)÷(1位数)の考えをもとに(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考えさせ、被除数が変わっても、筆算の仕方が変わらないことに気付かせるようにしていく。	1
10	既習事項のまとめや確かめをする。 【技：問題文を式に表すことができる。】	1

3 本時(5/10)

(1) 目標

(3位数)÷(1位数)の計算の仕方を理解し、筆算で計算できるようにする。

(2) 評価規準

筆算の仕方を、除法の具体的場面と結び付けながら、筋道を立てて説明している。【数学的な考え方】

(3) 指導に当たって

「つかむ」過程では、学習課題を提示する際、課題を把握するために分かっていることやみんなに聞いていることを確認したり、課題場面を想像し、色紙の絵や図で場面を表したりしながら、演算決定をしやすいようにしていく。また前時で百の位が割り切れるわり算の筆算を学習していることから、本時との違いに気付かせ、学習問題へ焦点化していく。

「見通す」過程では、(3位数)÷(1位数)の筆算の仕方を考える際に、(2位数)÷(1位数)を想起させ、同じところや違うところに着目させて、解決への糸口の見通しをもたせる。「見つける」過程では、(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方を想起して、大きい位から計算しようとしている子どもを称賛し、解決への糸口が見つからない子どもへのヒントとなるようにしていく。その際、割り切れないことに気付かせ、繰り下がりのある(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方につなげていく。

「磨き合う」過程では、筆算の仕方を説明する活動をしていく中で、(2位数)÷(1位数)の筆算の仕方の繰り返しであることに気付かせ、もっと被除数が大きくなっても繰り返して計算できそうだとことを理解させる。

「振り返る」過程では、説明できた筆算の仕方が生かせる練習問題を用意し、口頭で説明することもさせることで、筆算の順序を確実に身に付けさせていく。またこの筆算の仕方を次時の学習へ生かせるようつながりをもたせていく。

(4) 本時の展開

【 】 子どもの意識 □ 教師の手立て

※ 評価

時	過程	主な学習活動と教師の手立て・評価
10	つかむ	<p>1 学習課題を受け止める。</p> <p>536まいの色紙を、4人で同じ数ずつ分けます。1人分は、何まいになるでしょうか。</p> <p>・分かっていることやたずねていることは何かな。 ・様子を絵に表してみよう。 ・この問題の計算は何かな。 ・筆算で計算できそうだと。 ・今までのわり算の筆算と違うところはどこかな。</p>
		<p>2 学習問題をつかむ。</p> <p>536÷4の筆算はどのようにしたらよいだろう。</p>
30	見通す	<p>3 解決の見通しを話し合う。</p> <p>・前の時間はブロックを使って、それぞれのまとまり毎に分けていったので、その方法でできるんじゃないかな。 ・割り切れない位があるぞ。どうしたらいいかな。</p>
	見つける	<p>4 自力解決を行う。</p> <p>・百の位の数が余ったぞ。これをどうしたらいいかな。 ・まとまりをばらしたらいいんじゃないかな。 ・以前にも割り切れないときがあったよ。同じやり方でできるね。 ・ブロックでしたことを筆算に使えないかな。 ・友達に筆算の仕方を説明してみたいな。</p>
	磨き合う	<p>5 自分の考えを説明する。</p> <p>・みんなが分かるようにブロックを使って説明するぞ。 ・Aくんの説明は分かりやすいな。 ・Bくんの考えは僕と同じだ。 ・同じことの繰り返しだね。順序よく説明したら答えが出せそうだ。</p> <p>536÷4の筆算は、百の位から計算し、余ったら次の位と一緒に計算するとよい。</p>
5	振り返る	<p>6 練習問題をやる。</p> <p>・今日見つけた筆算の仕方で他の問題をやってみよう。 ・繰り返し下がりがあったとしてもわり算の筆算ができそうだ。</p>
		<p>7 本時の学習を振り返る。</p> <p>・友達の説明をしっかりと聞くことができていたよ。 ・筆算の仕方を順序よく説明できたぞ。</p>

分かっていることや尋ねていることを確認することで課題の様子を掴むことができるようにする。

課題場面の様子を絵や図に表すことで、課題の把握や演算決定をやすくさせていく。

百のまとまりが割り切れないことに気付かせ、前時との違いに気付かせ

見通しを行う際に、前時や既習事項を想起させ、似たような状況の場面はないかということに目を向けさせることで、見通しをもてるようにさせていく。

絵や図を用いて解決している子どもや、100のまとまりに視点を置いている子どもを称賛しながら個別指導を行う。

自力解決をしているときに、これまでに学んだことを活用していることに対して称賛を行いながら個別指導を行

※ 筆算の仕方を、除法の具体的な場面と結び付けながら、筋道を立てて説明している。(発表、説明、ノート)

○ 解決できている子どもには、違う(3位数)÷(1位数)の計算問題に取り組みせ、筆算の仕方を説明させていく。

○ 解決できていない子どもには、具体物を筆算と結び付けながら個別指導していく。

絵や図と、式・筆算を対応させて説明することで、よりよく相手に伝えられることを理解させる。

定着を図ることができるように、練習問題をやる。また、学習したことを振り返らせるために、本時で学んだことを活用するよう

小単元	育てたい力		主な学習活動	評価標準の重点観点	算数的活動の類型化及び活動例			
	思	判			表	動	調	か
二けたのひき算③	○			(知)	○		○	算数的活動例 ブロックなどを使った操作活動
	○		1 繰り下がりのない2位数同士の減法について考え、その筆算形式について考える。	(考)	○		○	ブロック等を用いた操作活動
	○	○	2 繰り下がりのある(2位数)－(2位数)の減法の筆算の仕方を考える。(本時)	(考)		○	○	既習事項を活用して問題を解決する活動
	○		○ 3 繰り下がりのある2位数同士の減法の筆算について練習し、(何十)－(2位数)や差が1位数になる筆算の仕方を考える。	(技)		○	○	既習事項を活用して問題を解決する活動
百より大きい数からひくひき算⑥	○	○	4 繰り下がりのある(2位数)－(1位数)の筆算の仕方を考える。また、既習事項の理解を深める。	(考)	○		○	ブロック等を用いた操作活動
	○		○ 5 (何百十何)－(2位数)で答が百の位に繰り下がる減法の筆算の仕方について考える。	(考)	○		○	ブロック等を用いた操作活動
	○	○	○ 6 (何百十何)－(2位数)で、2回繰り下がる減法について、その仕方について考える。	(考)		○	○	ブロック等を用いた操作活動
ひき算②	○	○	7 (何百)－(1, 2位数)で被減数の十の位が空位の際の筆算の仕方を考える。	(知)		○	○	お金模型等を使った操作活動
	○		○ 8 (何百)－(何百)の計算の仕方や(千)－(何百)の計算の仕方を考える。	(技)		○	○	既習事項を活用して問題を解決する活動
算の関係①なるかな①	○	○	○ 9 (3位数)－(1, 2位数)の計算の仕方を考える。	(考)		○	○	操作活動、図や絵に表す活動
	○		○ 10 テープ図や言葉の式をもとに、被減数・減数・答えの関係を調べ、加減の関係を考える。	(技)		○	○	操作活動、図や絵に表す活動
だめし②	○	○	○ 11 テープ図をもとに「部分+部分=全体」等の関係を捉えて立式し、答えを求める。	(技)	○	○	○	練習問題
	○		○ 12 学習のまとめ、練習問題をする。	(技)	○	○	○	練習問題
	○	○	○ 13 既習事項の確かめをする。	(技)	○	○	○	練習問題